



2018年度第2四半期 決算説明資料

2018年10月31日

三菱重工業株式会社

目次

I. 2018年度第2四半期 決算実績

・決算実績ハイライト	3
・連結経営成績サマリー	4
・定常収益	5
・セグメント別内訳	6
・連結財政状態	7
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	8
セグメント情報	
・受注高・受注残高	9
・売上収益	10
・事業利益	11

II. 2018年度業績見通し

・業績見通しサマリー	13
・定常収益	14
・セグメント別内訳	15

III. 三菱航空機の資本増強 16

IV. 補足資料 18-23

当社グループは、2018年度より国際会計基準(IFRS)を適用しています。
このため、2017年度第2四半期および2017年度の財務数値についても、
IFRSに準拠して表示しています。

I . 2018年度第2四半期決算実績

第2四半期決算実績 ハイライト

- 通期見通しに対し順調に進捗
→P4(実績サマリー)、P13(業績見通し)
- MRJ開発投資を除く定常収益は堅調に推移
(事業利益1,040億円(利益率5.6%)／四半期利益724億円(同3.9%))
→P5(定常収益)
- 受注高はインダストリー & 社会基盤が堅調(前年同期比+1,633億円)
パワーの減少(同△1,590億円)をカバー
→P6(実績セグメント別内訳)、P9(セグメント別受注高・受注残高)
- 事業利益はパワーおよびインダストリー & 社会基盤が増加
(パワー:前年同期比+331億円／インダストリー & 社会基盤:同+58億円)
航空・防衛・宇宙の減益(同△20億円)をカバー
→P6(実績セグメント別内訳)、P11(セグメント別事業利益)
- フリーキャッシュフローが改善(前年同期比+1,076億円)、
有利子負債(8,974億円)は第2四半期末としては過去最低水準
フリーキャッシュフロー通期見通しを従来の500億円から1,000億円に見直し
→P7(連結財政状態)、P8(主要財務指標／キャッシュ・フロー)
- 中間配当を前年度比5円増配、年間では期末配当を含め10円増配予定
→P13(業績見通し)

第2四半期決算実績 連結経営成績サマリー

(単位: 億円)

	2017年度2Q (利益率)		2018年度2Q (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		15,941		15,618	△ 323	(△2.0%)
売上収益		18,280		18,720	+440	(+2.4%)
事業利益	(1.1%)	194	(3.0%)	567	+373	(+191.7%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(△0.2%)	△29	(1.4%)	254	+284	-
EBITDA	(5.5%)	1,011	(6.4%)	1,201	+189	(+18.8%)
フリーCF		△1,826		△750	+1,076	-

(単位: 億円)

2018年度2Q	定常収益 (利益率)	MRJ投資	合計 (利益率)
受注高	15,618	—	15,618
売上収益	18,720	—	18,720
事業利益	(5.6%) 1,040	△472	(3.0%) 567
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(3.9%) 724	△469	(1.4%) 254
EBITDA	(8.9%) 1,673	△472	(6.4%) 1,201
フリーCF	△198	△551	△750

第2四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'17年度 2Q	'18年度 2Q	増減	'17年度 2Q	'18年度 2Q	増減	'17年度 2Q	'18年度 2Q	増減
パワー	5,845	4,255	△ 1,590	6,237	6,808	+571	142	473	+331
インダストリー& 社会基盤	7,625	9,258	+1,633	8,710	8,982	+271	245	303	+58
航空・防衛・宇宙	2,463	2,255	△ 207	3,363	3,074	△ 288	△ 201	△ 221	△ 20
その他	604	356	△ 248	606	342	△ 263	34	29	△ 4
消去または共通	△ 597	△ 508	+88	△ 638	△ 488	+150	△ 26	△ 18	+8
合計	15,941	15,618	△ 323	18,280	18,720	+440	194	567	+373

第2四半期決算実績 連結財政状態

(単位:億円)

	‘17年度末	‘18年度2Q末	対前年度末 増減
売上債権(営業債権、契約資産)	15,046	14,203	△842
棚卸資産	7,485	8,215	+729
その他流動資産	※ 9,877	※10,005	+128
固定資産	9,977	9,929	△48
投資等	10,100	10,176	+76
資産合計	52,487	52,530	+42
営業債務	8,011	7,408	△602
契約負債	9,146	9,085	△61
その他	10,258	9,621	△637
有利子負債	8,131	8,974	+843
資本	16,938	17,440	+501
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(13,955)	(14,363)	(+407)
負債・資本合計	52,487	52,530	+42

※ 南アフリカプロジェクトに係る資産を含む
 ‘17年度末 : 4,459億円
 ‘18年度2Q末 : 4,975億円
 (‘18年度1Q末 : 5,067億円)

借入金 △136
 コマーシャルペーパー +1,280
 社債 △300

配当 △201
 四半期利益 +254
 その他の包括利益 +280 他
 (その他有価証券評価差額金等)

主要財務指標

	‘17年度末	‘18年度 2Q末	対前年度末 増減	‘18年度 見通し
自己資本比率	26.6%	27.3%	+0.7pt	-
有利子負債残高 (単位:億円)	8,131	8,974	+843	7,700
D/Eレシオ	0.48	0.51	+0.03	-

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	‘17年度 2Q	‘18年度 2Q	増減	‘18年度 見通し
営業CF	△ 631	△ 42	+588	-
投資CF	△ 1,195	△ 707	+487	-
フリーCF	△ 1,826	△ 750	+1,076	1,000

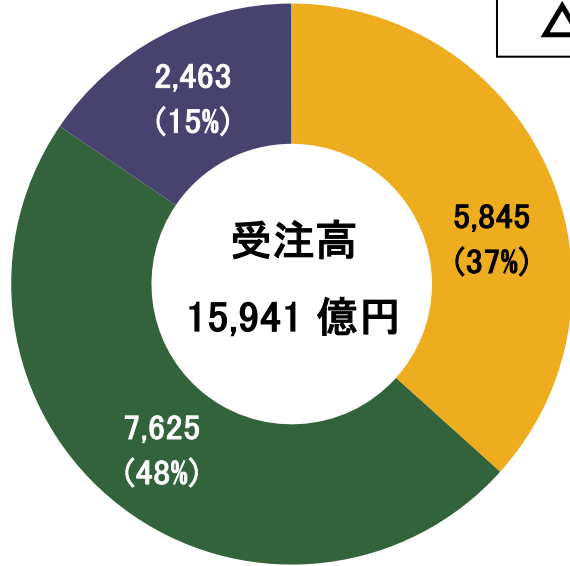
第2四半期決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>

2017年度2Q

その他、消去・共通: 7

受注高

△323億円

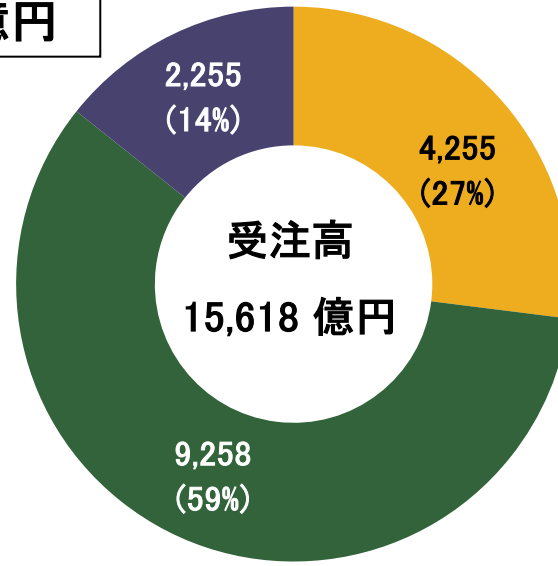


2018年度2Q

その他、消去・共通: △151

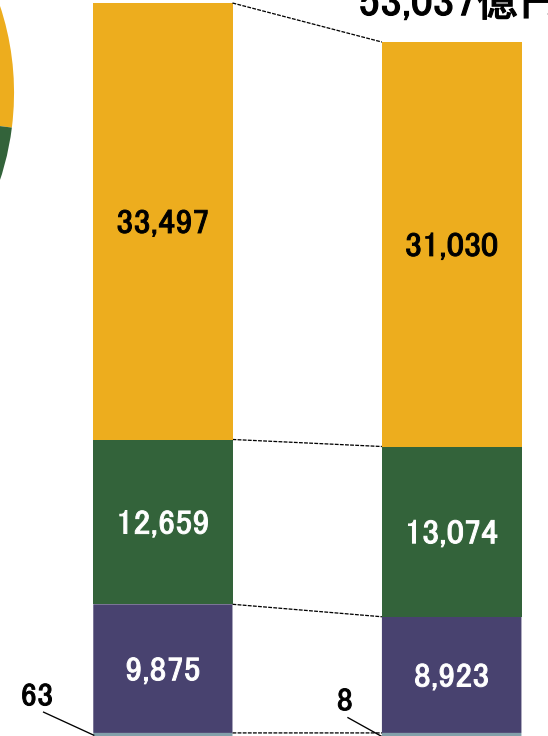
受注残高

△3,057億円



56,094億円

53,037億円



'17年度末

'18年度2Q末

- パワー
- インダストリー&社会基盤
- 航空・防衛・宇宙
- その他、消去・共通

■ パワー

減少: GTCC^(※)、
スチームパワー
(コンベンショナル火力)

■ インダストリー&社会基盤

増加: 製鉄機械、化学プラント

■ 航空・防衛・宇宙

増加: 防衛航空機
減少: 民間航空機、艦艇

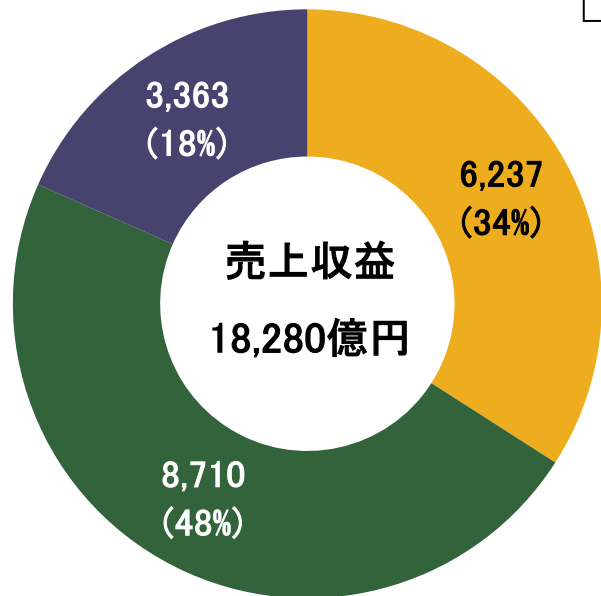
(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

(ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない)

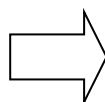
第2四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

2017年度2Q

その他、消去・共通: △31

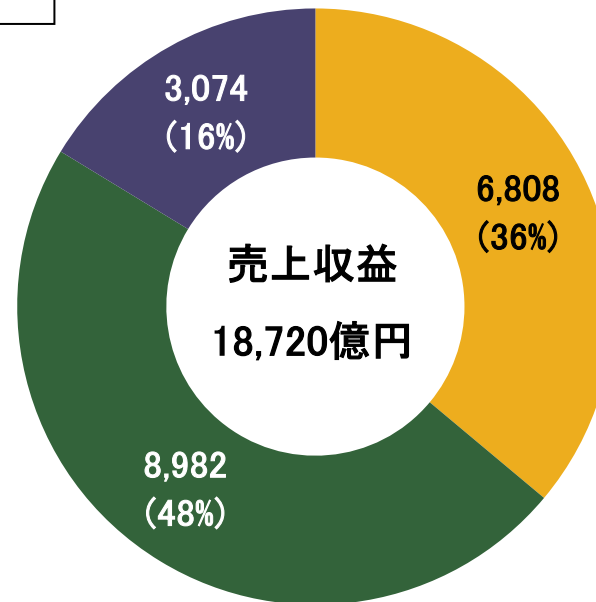


+440億円



2018年度2Q

その他、消去・共通: △145



■ **パワー**

増加: 原子力、GTCC、航空エンジン

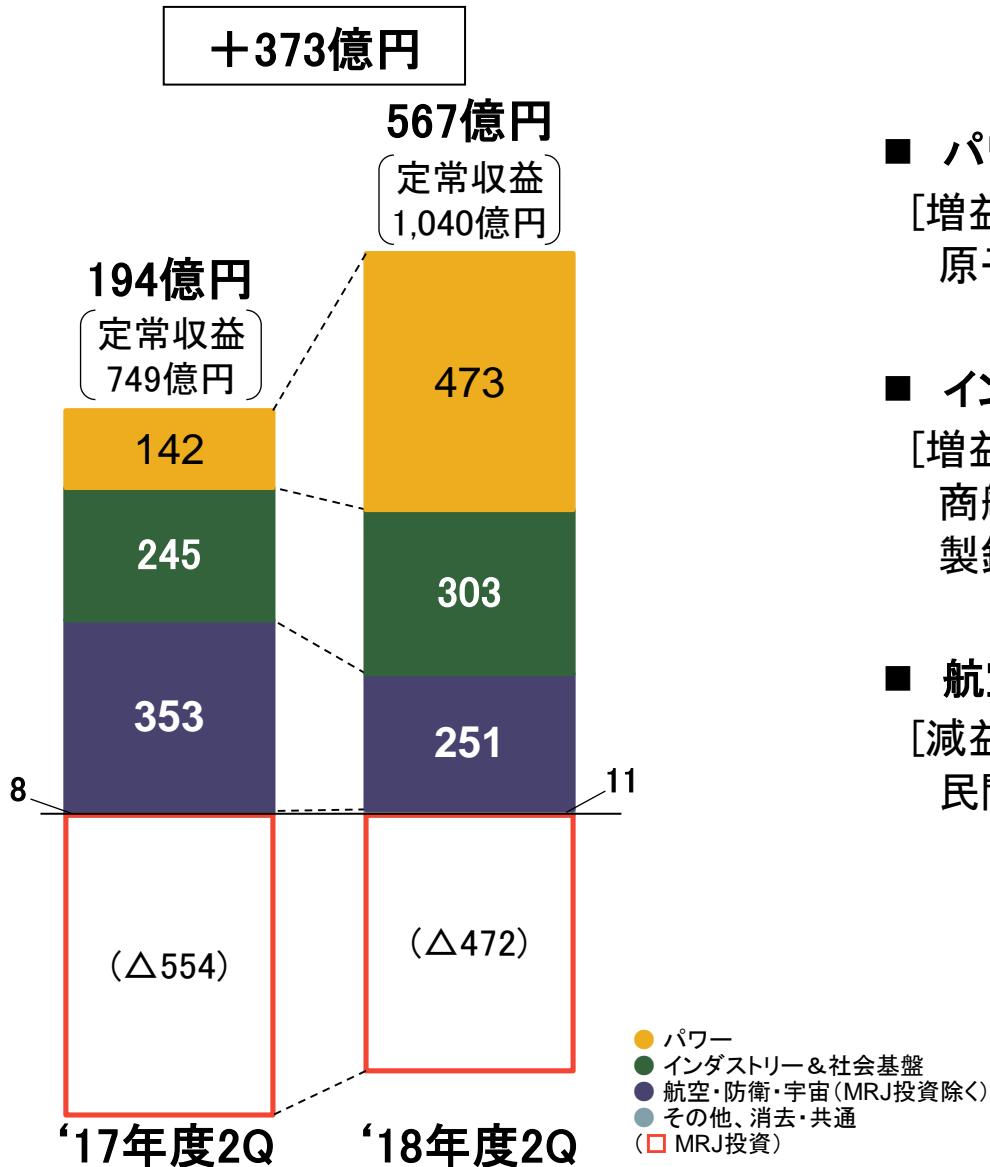
■ **インダストリー&社会基盤**

増加: 製鉄機械、物流機器、
ターボチャージャ

減少: 化学プラント、交通システム

■ **航空・防衛・宇宙**

減少: 飛昇体、民間航空機



- **パワー**
 [増益]
 原子力、GTCC: 売上増加 他

- **インダストリー&社会基盤**
 [増益]
 商船: 事業構造改善効果
 製鉄機械: 売上増加 他

- **航空・防衛・宇宙**
 [減益]
 民間航空機: 売上減少 他

Ⅱ. 2018年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2018年度業績見通し サマリー

(単位:億円)

	2017年度実績 (利益率)	2018年度		対前年度増減 (増減率)	
		今回見通し (利益率)	前回見通し (2018年8月3日)		
受注高	38,687	41,000	41,000	+2,312	(+6.0%)
売上収益	40,856	42,000	42,000	+1,143	(+2.8%)
事業利益	(1.4%) 581	(3.8%) 1,600	1,600	+1,018	(+175.0%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△73	(1.9%) 800	800	+873	-
ROE	△0.5%	6%	6%	-	
EBITDA	(5.7%) 2,319	(7.6%) 3,200	3,200	+880	(+38.0%)
フリーCF	1,675	1,000	500	△675	-
配当 (株式併合後換算、 1株あたり)	(※) 120円 (中間60円/期末60円)	130円 (中間65円/期末65円)			

【未確定外貨】

13億ドル
4億ユーロ

【前提為替レート】

1ドル = 110円
1ユーロ = 130円

第2四半期のFCF実績が想定を上回ったことから、FCFのみ前回公表値を見直し

(※) 当社は、2017年10月1日付で株式併合(10株→1株)を実施しました。2017年度の中間配当は1株あたり6円ですが、本資料上は配当予想との比較のため、当該株式併合実施後の配当金に換算して記載しています。

2018年度業績見通し 定常収益

(単位:億円)

2018年度見通し	定常収益		MRJ投資	合計	
	今回見通し (利益率)	前回見通し (2018年8月3日)		(利益率)	
受注高	41,000	41,000	-	41,000	
売上収益	42,000	42,000	-	42,000	
事業利益	(6.0%) 2,500	2,500	△900	(3.8%)	1,600
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.0%) 1,700	1,700	△900	(1.9%)	800
ROE	12%	12%	-	6%	
EBITDA	(9.8%) 4,100	4,100	△900	(7.6%)	3,200
フリーCF	2,200	1,700	△1,200	1,000	

- 定常収益におけるTOP_(※1)比… 1 : 1.2 : 0.7
(売上…4.2兆円、総資産…5.1兆円、時価総額…2.8兆円_(※2))

(※1) TOP: Triple One Proportion(売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

(※2) 時価総額は親会社の所有者に帰属する当期利益の16.7倍(資本コスト:6%)として算定

2018年度業績見通し セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'17年度実績	'18年度見通し	対前年度増減	'17年度実績	'18年度見通し	対前年度増減	'17年度実績	'18年度見通し	対前年度増減
パワー	14,375	15,000	+624	14,824	16,000	+1,175	849	1,350	+500
インダストリー&社会基盤	17,113	19,500	+2,386	18,900	19,000	+99	410	800	+389
航空・防衛・宇宙	7,146	6,500	△ 646	7,183	7,000	△ 183	△ 635	△ 450	+185
その他	1,135	1,000	△ 135	1,207	1,200	△ 7	34	50	+15
消去または共通	△ 1,083	△ 1,000	+83	△ 1,259	△ 1,200	+59	△ 77	△ 150	△ 72
合計	38,687	41,000	+2,312	40,856	42,000	+1,143	581	1,600	+1,018

セグメント別内訳は前回公表値(2018年8月3日)から変更なし

Ⅲ. 三菱航空機の資本増強

三菱航空機の資本増強

- 既存株主のご理解のもと、三菱航空機に対し当社が増資を全額引き受けるとともに債権放棄を行い、三菱航空機の債務超過の解消ならびにMRJ開発資金を確保する
- 資本増強により、三菱重工の持分比率は64.0%→86.7%に増加

	増強前		増強後
資本金・ 資本準備金	1,000億円	増資:1,700億円 →	2,700億円
累積損失 ^(※)	約△2,100億円	債権放棄:500億円 →	約△1,600億円
純資産 ^(※)	約△1,100億円	上記計:+2,200億円 →	約1,100億円

(※)2018年3月末を基準に計算

- 増資により調達する資金はMRJ90の研究開発や事業化準備に活用
- MRJを一つの柱とし、民間航空機事業を三菱重工グループの次の主力事業に成長させる
(新規事業育成のための投資として、三菱重工グループの資金循環の中で対応)

IV. 補足資料

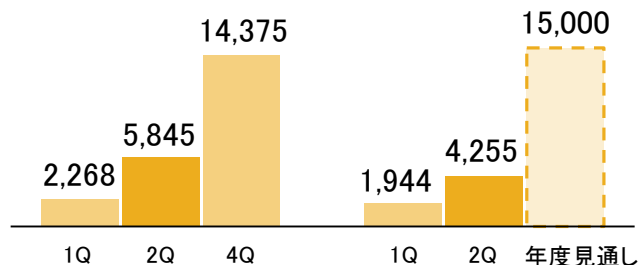
補足資料① 第2四半期決算実績 <パワー>

(億円、各期の数値は累計)

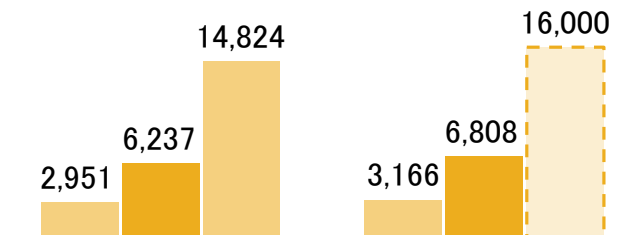
2017年度

2018年度

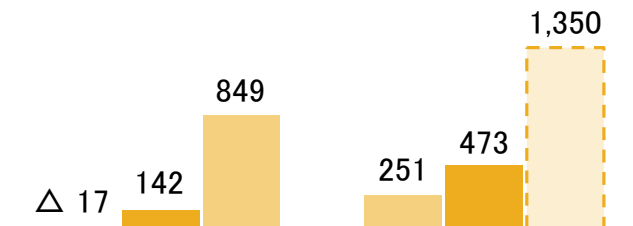
受注



売上



事業利益



受注 : 対前年同期△1,590億円の減少

減少…GTCC_(※)、スチームパワー(コンベンショナル火力)

(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

【ガスタービン受注台数】

2017年度2Q : 5台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	2	-	2	4
中小型	-	-	-	1	1
合計	0	2	0	3	5

2018年度2Q : 4台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	-	-	-	0
中小型	2	2	-	-	4
合計	2	2	0	0	4

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
2017年度2Q末	43	13	56
2017年度末	38	6	44
2018年度2Q末	33	8	41

売上 : 対前年同期+571億円の増収

増加…原子力、GTCC、航空エンジン

損益 : 対前年同期+331億円の増益

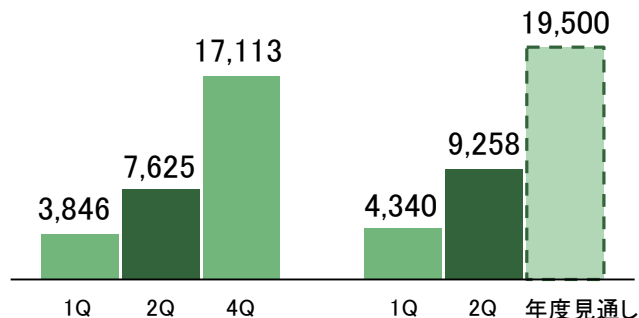
増益…原子力、GTCC:売上増加 他

(億円、各期の数値は累計)

2017年度

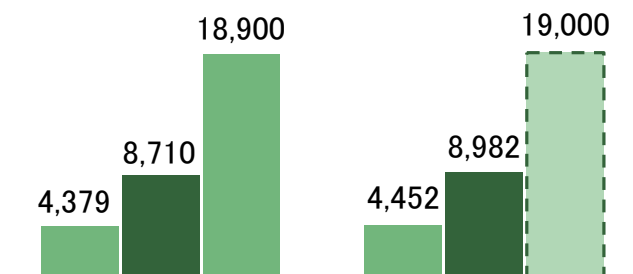
2018年度

受注



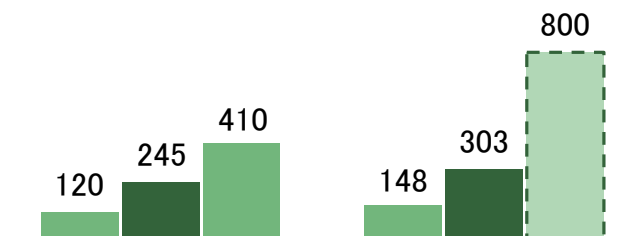
受注 : 対前年同期+1,633億円の増加
増加…製鉄機械、化学プラント

売上



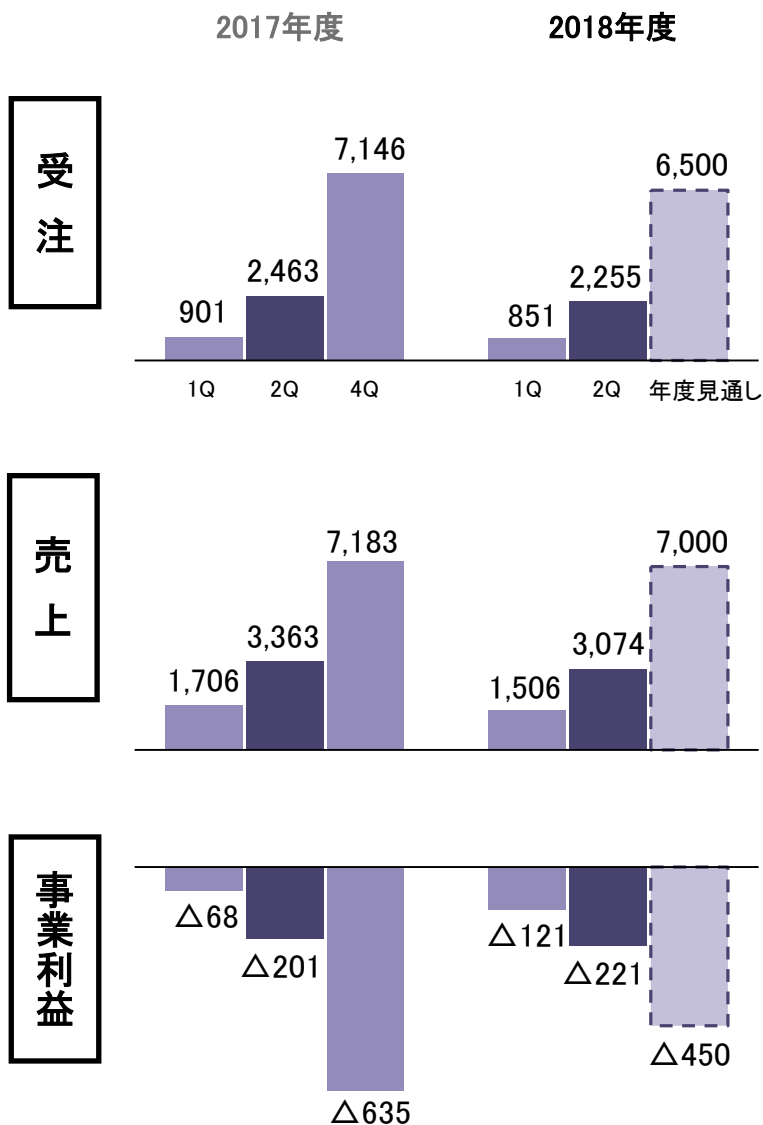
売上 : 対前年同期+271億円の増収
増加…製鉄機械、物流機器、ターボチャージャ
減少…化学プラント、交通システム

事業利益



損益 : 対前年同期+58億円の増益
増益…商船: 事業構造改善効果
製鉄機械: 売上増加 他

(億円、各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△207億円の減少

増加…防衛航空機

減少…民間航空機、艦艇

【MRJ 累計受注機数】(2018年10月31日現在)

387機 (確定 213機、オプションおよび購入権 174機)

売上 : 対前年同期△288億円の減収

減少…飛昇体、民間航空機

【B777/B777X 引渡機数】

‘17年度(実績) : 58機 (1Q:17機、2Q:15機、3Q:16機、4Q:10機)

‘18年度(見通し) : 48機 (1Q:11機、2Q:11機、3~4Q:計26機[予定])

【B787 引渡機数】

‘17年度(実績) : 141機 (1Q:36機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:36機)

‘18年度(見通し) : 148機 (1Q:37機、2Q:36機、3Q~4Q:75機[予定])

損益 : 対前年同期△20億円の減益

減益…民間航空機: 売上減少 他

補足資料② 参考データ

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	‘17年度 2Q	‘18年度 2Q	(単位: 億円) ‘18年度 見通し
研究開発費	616	627	1,800
減価償却費	816	633	1,600
設備投資	712	539	1,600

2. 販売費及び一般管理費

	‘17年度 2Q	‘18年度 2Q
販管費	2,615	2,614

(単位: 億円)

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	‘17年度 2Q	‘18年度 2Q
USドル(円/USドル)	111.3	109.6
ユーロ(円/ユーロ)	125.7	129.3

補足資料② 参考データ

4. 海外地域別売上収益

(単位: 億円)

	'17年度2Q	'18年度2Q
アジア	3,124 (17%)	3,461 (19%)
北米	3,290 (18%)	3,085 (16%)
欧州	1,833 (10%)	2,046 (11%)
中南米	712 (4%)	676 (4%)
中東	712 (4%)	616 (3%)
オセアニア	141 (1%)	113 (1%)
アフリカ	338 (2%)	406 (2%)
合計	10,152 (56%)	10,406 (56%)

※ ()内は構成比

5. 所在地別セグメント情報

(単位: 億円)

		'17年度2Q	'18年度2Q
日本	売上収益	15,278	14,347
	事業利益	49	352
北米	売上収益	2,157	2,163
	事業利益	46	44
アジア	売上収益	1,380	2,083
	事業利益	151	162
欧州	売上収益	1,714	1,860
	事業利益	△ 54	4
その他	売上収益	515	236
	事業利益	2	4
消去または共通	売上収益	△ 2,766	△ 1,972
	事業利益	-	-
合計	売上収益	18,280	18,720
	事業利益	194	567

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**